298. 壁取付型万能リーダー撮影台(コンストンスプリング方式)の試作

Development of wall attached type Lieder's Radiographic Stand
(Using Conston Spring)

聖マリアンナ医科大学病院 ○小山内 司郎 仲栄真 清信 棚部 晃
Osanai Shirou Nakaema Kiyonobu Tanabe Akira
中川 義明 高坂 元包
Nakagawa Yosiaki Kousaka Motokane
日興ファインズ工業 金田 慎爾
Kaneda Sinji

〔目的〕

従来の立位撮影台(カウンターバランス方式)を見直し、撮影室内を広く使用してカセットの六切判から長尺判まで簡単に着脱でき、床面にて位置決めができないか。これら諸条件を満たしたコンストンスプリングを用いた撮影台を試作し、良好な結果を得たので報告する。

〔方法〕

1. コンストンスプリングを使用。
2. 薄型ベアリングレールを使用。
3. カセット上部押さえをスプリングスライド方式とした。
4. カセットホルダー下端が床まで降りる構造とした。

〔結果〕

コンストンスプリングは、バランスが非常に良く、手技者の一連の動作をスムーズにした。位置決め後の細かい修正が片手にて可能である。立位荷重時、車椅子上の撮影は、床面にて行えるので非常に有効的であった。壁面取付型の最大のメリットは、床面を広く使用できる事である。大きな欠点は見当たらないが、移設がしにくく設置場所を検討する必要がある。

〔考察〕

患者を正確かつ迅速に検査室から解放が出来るようになった。今回のスプリングは患者固定具、保持器、荷重具等に応用が可能であり、これらの開発も検討中である。

①頸椎

②車椅子時

③膝荷重時

④全脊椎

⑤下肢